

モーリタニア（2025年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在モーリタニア日本国大使館](#)

1. 2024年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育

1.2024年度日本語教育機関調査結果

初等教育			中等教育			高等教育			学校教育以外			全体の合計		
機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（注）2024年度日本語教育機関調査は、2024年9月～12月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

日本語教育の実施は確認されていない。

3.教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

義務教育としては、初等教育が6年間、前期中等教育（日本の中学校に相当）が4年間、後期中等教育（高校に相当）が3年間行われる。

高等教育としては、大学3年間で学士号に相当する Licence、その後2年間で修士号に相当する Master を付与し、それ以降は博士課程（3年）となる。

教育行政

教育行政を所管しているのは、イスラム・基礎教育省、国家教育・教育システム改革省、高等教育・科学研究省である。

言語事情

憲法上の国語はアラビア語、プラール語、ソニンケ語、ウォルフ語、公用語はアラビア語であり、実務言語としてはフランス語が広く用いられている。多くの国民がアラビア語方言の一種であるハッサーニーヤ方言を話す。

外国語教育

公立学校では、これまで基本的にアラビア語で授業が行われ、理数系の科目のみフランス語で授業が行われていたものの、2023年7月に成立した教育改革法案により、2024年から初等教育のみで理数系科目もアラビア語による授業が行われており、今後中学・高校でも導入が予定されている。また、前期中等教育から英語の授業がある。

私立学校では、原則として国家教育・教育システム改革省のプログラムに則った教育が義務づけられるが、そのプログラムの枠の中で、各教育機関の判断によりアラビア語またはフランス語による授業が行われており、初等教育から英語の授業を始める教育機関もある。

情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。

なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

Eメール：kuniketsu@jpf.go.jp

(メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください)